

佐藤誠七町長は、昨年10月29日に急病により入院し、復帰を目指してまいりましたが現在の体調を考えると町長職の重責を担うことは困難との思いに至り、2月28日をもって退職されました。

佐藤町長は、平成20年10月に町長に就任し、以来17年4カ月にわたり、町政のかじ取り役を担われました。就任後策定した第5次総合計画では、「共創のまちづくり」を理念として掲げ、これまで一貫して推進され、多様な施策に取り組みました。

人づくりの分野では、県内の他市町村に先駆け保育料や医療費の無償化を行い、妊娠から出産、子育てまでの切れ目ない支援、鷹山小学校の荒砥小学校への統合、白鷹中学校創立などに取り組み、産業・経済の分野では、町産の杉材を最大限に活用したまちづくり複合施設をはじめとする公共施設の木造化や、森林境界の明確化、企業の設備投資や新規就農者への支援、「日本の紅をつくる町」に代表される白鷹らしい資源の活用促進などに努められました。

また、地域力の分野では、各地区コミュニティセンターの設置や災害を教訓とした防災機能の拡充、消防団組織の強化、町民の長年の

悲願であった「白鷹大橋」の整備などを実現されたほか、若者世帯へのアパート供給・住宅取得への支援や、空き家バンクの立ち上げ、地域おこし協力隊、集落支援員などの設置、町出身者や縁のある市町との良好な関係構築に尽力されました。

このような取組は、佐藤町長の徹底した現場主義による強いリーダーシップと、国との強固な関係性に基づく行動力により推進され、町民の皆さまに対しても町のあるべき姿を明確に示し町政運営を進めてこられました。

今後に向けても、新たな課題への取組を進めようとしていますが、このたびの退任となりました。これからはリハビリに専念いただき、一日も早い回復を心よりお祈り申し上げます。本当にお疲れさまでした。



《佐藤誠七町政の歩み》

年	月	主な出来事
平成20年	10月	初当選、1期目スタート
平成21年	10月	デマンドタクシー全町で運行開始 文化交流センター「あゆむ」オープン
平成22年	4月	第5次総合計画スタート 医療費の無償化15歳まで拡大
	10月	白鷹町産業フェアを初開催
	12月	白鷹町産業センターオープン
平成23年	4月	白鷹人育成事業を開始
平成24年	3月	旧中山小学校に特別養護老人ホーム「マイスカイ中山」開所
	9月	東陽グラウンドの人工芝化
	10月	2期目スタート
平成25年	4月	さくらの保育園、子育て支援センター「にこぼーと」オープン 第3子以降の保育料無償化
平成26年	10月	『白鷹町史・現代編』刊行
平成27年	4月	第5次総合計画後期基本計画スタート 白鷹中学校が開校 地区公民館のコミュニティセンター化
平成28年	4月	医療費の無償化18歳まで拡大
	7月	3期目スタート 新入学児童ランドセル贈呈事業の開始

年	月	主な出来事
平成29年	4月	ソフトボール場・野球場の改修工事竣工
	5月	「しらたか木育宣言」積み木贈呈開始
平成30年	6月	米沢市と置賜2市5町で置賜定住自立圏形成協定締結
	7月	日本の紅をつくる町推進拠点施設「山峡紅の里」オープン
令和元年	5月	まちづくり複合施設オープン
令和2年	4月	第6次総合計画スタート
	10月	4期目スタート まちづくり複合施設が木材利用優良施設 コンクール最優秀賞「内閣総理大臣賞」受賞
	12月	新荒砥橋「白鷹大橋」開通
令和3年	4月	小中学校でGIGAスクール構想 タブレット端末1人1台活用スタート
令和4年	4月	歴史民俗資料館「あゆみしる」オープン
令和5年	4月	児童発達支援センター「にこっと」開設 鷹山地区拠点施設「白鷹の杜たかやま」オープン
令和6年	3月	「しらたかマルチワーク事業協同組合」設立
	10月	5期目スタート
令和7年	3月	佐藤文隆氏を名誉町民へ推挙
	4月	第6次総合計画後期基本計画スタート
	12月	健康福祉センターリニューアルオープン



白鷹町長選挙

田宮 修氏が無投票で初当選

田宮町政、始動。

佐藤誠七前町長が体調不良により辞職したことに伴う白鷹町長選挙は、3月17日に告示され、新人・無所属で前副町長の田宮修氏（59歳・十王）以外に立候補の届け出がなかったため、無投票で当選を果たされました。3月22日に白鷹町長としての任期がスタートしました。

田宮新町長は、本町出身で日本体育大学を卒業後、平成元年に入庁され、会計管理者、教育委員会教育次長を歴任し、令和4年度から副町長を務められました。

23日には、中央公民館大会議室にて当選証書付与式が行われ、菅原隆男町議会議長などが参列する中、当選した田宮新町長へ小川浩美選挙管理委員会委員長より当選証書が手渡されました。



3月23日、初登庁の様子

就任のごあいさつ

このたびの町長選挙におきまして、町民の皆さまの温かいご信任を賜り、町政の重責を担わせていただくことになりました。心より感謝申し上げます。もとより微力ではありますが、皆さまから寄せられた信頼と期待に応えるため、佐藤前町長が進めてこられたまちづくりを引き継ぎつつ、新たな決意と情熱をもって、町政を前に進めてまいります。

私は、「未来へつなぐ！共創のまちづくり」を理念に掲げ、現場との対話を大事にしながら、「町民一人ひとりが幸せを実感し、未来に希望が持てる町づくり」に取り組んでまいります。本町には、最重要課題である人口減少対策をはじめ、人材の育成、産業の振興、生活基盤の整備、移住定住の施策等、継続して取り組むべき多岐にわたる課題があります。

主な具体的取組としては、長年の課題である国道348号の再整備、雇用確保と所得向上に向けた6次産業化の推進、子育て・若者世帯向け住宅をはじめとする住環境整備、子どもたちの将来を見据えた学校教育の環境づくりなどがあり、一つずつ着実に実践してま

まいります。

当然ながら、このような施策の推進には、町民の皆さま、町議会そして行政が手を取り合い、知恵を出し合う共創こそが、白鷹の未来を切り拓く力になると確信しています。まずは、私の考えをお伝えしつつ、町民の皆さまの思いをお聞きし、意見交換のできる場をもたせていただき、ともに施策をつくり上げていくような取組を行ってまいります。

改めまして、常に現場との対話を原点に、町民本位の幸福を希求し、全力でまちづくりを展開いたします所存であり、その責任の重さを胸に、誠実に町政運営に邁進する決意でありますので、さらなる町民の皆さまのご指導、ご協力を賜りますことをお願いし、就任のごあいさつとさせていただきます。



白鷹町長 田宮 修